

# N腎・膠原病専門医養成コース

(以下の腎・膠原病専門重点コースからなる)

55N 腎臓内科専門医コース

56N 透析医学会認定専門医コース

57N 血漿交換療法専門医コース

58N 腎・膠原病高血圧専門医コース 62N 腎・膠原病救急医学専門医コース

59N 腎・膠原病老年医学専門医コース 63N 腎・膠原病集中治療医学専門医コース

60N 腎・膠原病リウマチ専門医コース 64N 腎・膠原病総合内科専門医コース

61N 腎・膠原病腎移植認定医コース

## ■ コース概要

### ● コースの全体像

本コースは卒後臨床研修を修了した医師を対象とし、原則として6年間で腎・膠原病専門医を養成する。腎生検から腎移植、長期透析患者の合併症管理に至る広い腎臓疾患領域に対して、幅広い知識と技能を有し、独立して診療できる腎臓専門医を養成するとともに、透析、腎移植、腎病理、リウマチ、高血圧、総合内科等の各専門医・認定医並びに指導医の取得を目指す重点コースを選択し、大学病院及び各学会認定施設において、腎専門医としての研修と併行して行う。1年目は内科学会認定教育施設で内科全般の研修を行い、認定内科医を取得する。2年目以降、大学院腎・膠原病内科学分野に進み基礎・臨床研究を行うコースと、医員として大学病院で腎・膠原病内科研修を行うコースの何れかを選択する。4年目には全員が大学病院で、5・6年目は連携する各自が選択した腎学会、リウマチ学会、透析学会等の認定施設において、腎・膠原病内科研修と重点コース研修を行う。



### ● コースの指導状況

専門医養成において、専門分野の指導スタッフの充実が、なによりも重要な条件であるが、腎臓学会専門医(11名)、同指導医(6名)、透析医学会専門医(11名)、同指導医(6名)のほか、関連の深い糖尿病学会専門医(3名)、リウマチ学会専門医(4名)などが一つの診療科に在籍し指導にあっている。小児科や泌尿器科ほか、学内の多くの診療科との密接な連携が確立しており、総合的かつ高度な研修を行う体制が整っている。

## ■ N腎・膠原病専門医養成コースで取得可能な専門医

| 専門医                                     | N専門重点コース  |
|---|---|
| 総合内科専門医<br>【日本内科学会】<br>▶2-5             | 59N 腎・膠原病老年医学専門医コース<br>64N 腎・膠原病総合内科専門医コース  |
| 救急科専門医<br>【日本救急医学会】<br>▶2-53            | 62N 腎・膠原病救急医学専門医コース   |
| 腎臓専門医<br>【日本腎臓学会】<br>▶2-78              | 55N 腎臓内科専門医コース 60N 腎・膠原病リウマチ専門医コース<br>56N 透析医学会認定専門医コース 61N 腎・膠原病腎移植認定医コース<br>57N 血漿交換療法専門医コース 62N 腎・膠原病救急医学専門医コース<br>58N 腎・膠原病高血圧専門医コース 63N 腎・膠原病集中治療医学専門医コース<br>59N 腎・膠原病老年医学専門医コース 64N 腎・膠原病総合内科専門医コース |
| 老年病専門医<br>【日本老年医学会】<br>▶2-81            | 59N 腎・膠原病老年医学専門医コース   |
| リウマチ専門医<br>【日本リウマチ学会】<br>▶2-101         | 60N 腎・膠原病リウマチ専門医コース   |
| 集中治療専門医<br>【日本集中治療学会】<br>▶2-115         | 63N 腎・膠原病集中治療医学専門医コース   |
| 透析専門医<br>【日本透析医学会】<br>▶2-119            | 56N 透析医学会認定専門医コース   |
| 血漿交換療法専門医<br>【日本アフェシス学会】<br>▶2-123      | 57N 血漿交換療法専門医コース  |
| 高血圧学会特別正会員(FJSH)<br>【日本高血圧学会】<br>▶2-147 | 58N 腎・膠原病高血圧専門医コース  |
| 腎移植認定医<br>【日本臨床腎移植学会】<br>▶2-167         | 61N 腎・膠原病腎移植認定医コース  |

## ■ N腎・膠原病専門医養成コースの研修施設

| 施設名                  | N専門重点コース                                |
|----------------------|---|
| ▶3-1 新潟大学医学部総合病院     | 55N,56N,57N,58N,59N,60N,61N,62N,63N,64N |
| ▶3-5 秋田大学医学部附属病院     | - 56N,57N - - - - 62N,63N -             |
| ▶3-7 琉球大学医学部附属病院     | 55N,56N,57N,58N,59N, - - - - -          |
| ▶3-15 新潟県立中央病院       | 55N,56N,57N,58N,59N,60N, - 62N,63N,64N  |
| ▶3-29 新潟県立新発田病院      | 55N,56N,57N,58N,59N,60N, - 62N,63N,64N  |
| ▶3-31 新潟県立リウマチセンター   | - - - - - 60N - - - -                   |
| ▶3-33 新潟市民病院         | 55N,56N,57N,58N,59N,60N,61N,62N,63N,64N |
| ▶3-37 長岡赤十字病院        | 55N,56N,57N,58N,59N,60N,61N,62N,63N,64N |
| ▶3-41 済生会新潟第二病院      | 55N,56N,57N,58N,59N, - - - 62N,63N,64N  |
| ▶3-44 新潟県厚生連糸魚川総合病院  | 55N,56N,57N,58N,59N,60N,61N,62N,63N,64N |
| ▶3-51 新潟県厚生連長岡中央総合病院 | 55N,56N,57N,58N,59N,60N, - 62N,63N,64N  |
| ▶3-57 新潟県厚生連村上総合病院   | 55N,56N,57N,58N,59N,60N,61N,62N,63N,64N |
| ▶3-59 新潟県厚生連佐渡総合病院   | 55N,56N,57N,58N,59N, - - - 62N,63N,64N  |
| ▶3-67 小千谷総合病院        | 55N,56N,57N,58N,59N,60N,61N,62N,63N,64N |
| ▶3-71 信楽園病院          | 55N,56N,57N,58N,59N, - 61N,62N,63N,64N  |
| ▶3-93 栃木県厚生連下都賀総合病院  | 55N,56N,57N,58N,59N,60N,61N,62N,63N,64N |

●連絡先

新潟大学医学総合病院  
腎・高血圧内科、呼吸器内科、感染症内科、膠原病内科、心療内科(第二内科)  
教授 成田一衛  
TEL:025(227)2193 FAX:025(227)0775

E-mail:naritai@med.niigata-u.ac.jp  
HP URL:http://www.med.niigata-u.ac.jp/in2/welcome.html



新潟大学医学総合病院  
腎・高血圧内科、呼吸器内科、  
感染症内科、膠原病内科、  
心療内科(第二内科)教授  
成田一衛



新潟大学医学部  
保健学科教授  
中野正明

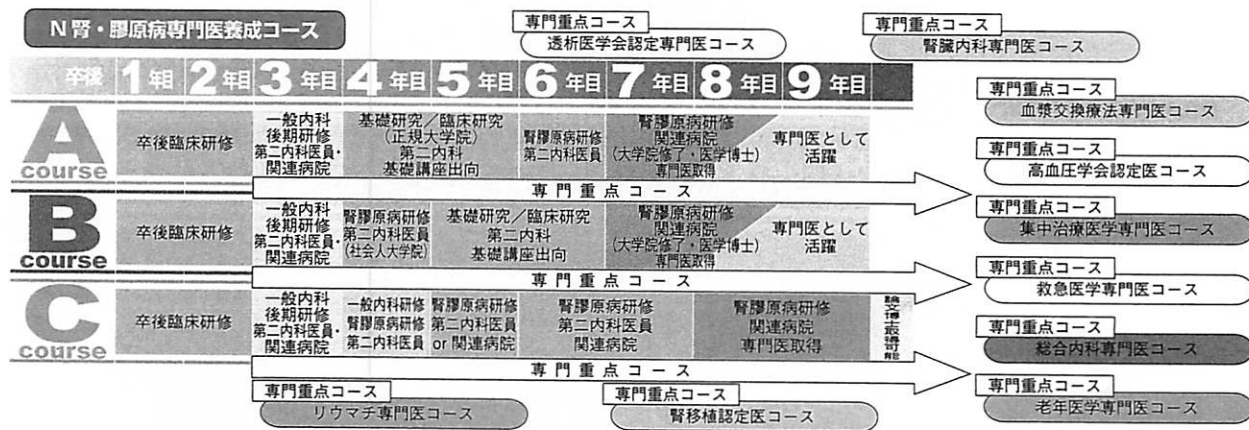
中野正明

■プログラム

●専門研修の特色

伝統と先進性を誇る当診療科では、文字どおり、腎生検から腎不全の透析治療、腎移植まで、腎臓内科専門医として要求されるすべてのケースに対応できるように研修することができます。また、急性腎不全・多臓器不全に関連する救急医療・集中医療でも数多くの経験を積むことができます。研究面においては、臨床病理学的研究から遺伝子レベルの研究、さらには遺伝子治療・再生医療など

新しい治療法の開発に向けた基礎研究も幅広く展開しています。膠原病診療では、臓器別ではない全身を診る全人的診療の基本を身に付けることを目標とし、自己免疫疾患、リウマチ性疾患のマネジメントについて専門的に研修できます。膠原病の臨床研究を中心に、免疫学研究、遺伝子研究を展開しています。新潟大学には国内唯一の腎研究施設3部門があり、互いに交流しながら研究を進めていることも特徴の一つです。



●専門研修プログラムの概略

腎臓疾患、膠原病疾患は多臓器の疾患を合併していることが多く、腎臓・膠原病の専門的知識と技術の他に、一般内科医として多様な疾患に対応できる能力が必要です。腎・膠原病内科コースは、多彩な疾患を高度先進的なレベルで診療している新潟大学医学総合病院を中心として、腎・膠原病疾患の診療を専門的に担当しながら、疾患を全人的に診る研修コースです。コースは原則として、一般内科後期研修、腎・膠原病内科専門臨床研修、および大学での研究期間に分けられます。

Aコースは、専門研修の初年度に一般内科後期研修を1年間行った後、大学院に正規入学し、腎・高血圧内科、呼吸器内科、感染症内科、膠原病内科、心療内科(第二内科)(臨床的問題に基づいた研究)あるいは基礎教室(国内留学も含む)で2年間研究(内科認定医はこの間の卒業後4~5年目に取得)。その後、当科関連病院で腎・膠原病の臨床研修を行い、内科学会及び各専門学会の専門医資格を取得します。

Bコースは、専門研修の初年度に一般内科後期研修を1年間行った後、当科医員等として腎・膠原病内科臨床研修を開始。医員に在職しながら社会人大学院特別選抜で入学を行うとともに認定内科医を取得。その後、当教室あるいは基礎教室(国内留学も含む)で2年間研究し、続いて当科と関連病院で専門研修を行い専門医資格の取得が可能となります。

Cコースは、当科と関連病院で専門研修を行い、その後専門医資格を取得、この間臨床研修の傍ら臨床研究を行います。臨床研究の論文を提出することで論文博士の取得も可能です。

どのコースも修了後(概ね卒業後10年)、大学で腎臓内科・膠原病内科の指導者・教官を目指すものと、関連病院で腎臓内科・膠原病内科専門医として活躍するものとに分かれます。

以上一般的な研修コースですが、各自の将来構想により、適宜コースの変更は可能です。また海外研究留学希望者は、研究の進捗状況に応じて適宜選択が可能です(概ね卒業後8~10年頃)。

教室からは常時4~6名が海外留学をしています。

●各種学会認定専門医数

日本腎臓学会腎臓専門医: 11人  
日本透析医学会透析専門医: 11人  
日本リウマチ学会リウマチ専門医: 4人  
日本糖尿病学会糖尿病専門医: 3人  
日本内科学会認定総合内科専門医: 12人

●各種学会認定指導医数

日本腎臓学会腎臓学会指導医: 6人  
日本透析医学会指導医: 6人  
日本リウマチ学会リウマチ指導医: 2人  
日本糖尿病学会糖尿病指導医: 1人

●各種学会専門医修練施設としての認定

日本腎臓学会研修施設  
日本透析医学会認定施設  
日本リウマチ学会教育施設  
日本内科学会認定医制度認定教育施設  
日本老年医学会認定施設



# N専門研修案内2011

新潟大学医歯学総合病院  
Niigata University Medical & Dental Hospital



な  
り  
た  
い  
自  
分  
に  
な  
る。

